

# WOOD of MIE 三重の木

## ご存知ですか？ 三重の木のこと。

森林面積が約64%を占めている三重県。

三重県は江戸時代からスギやヒノキを中心とした人工造林による林業が進んでおり、全国有数の木材生産県として知られています。

特に熊野地方から紀伊山地にかけては、温暖多湿な気候により、林業が盛んで、「木の国」と呼ばれて親しまれてきました。

こうしたスギとヒノキを中心とした豊富な森林資源を背景に、多数の製材工場が操業しており、全国でも上位に入る工場数を誇っています。

現在も江戸時代から受け継がれてきた伝統的な造林・育林手法により、「尾鷲ヒノキ」に代表される、通直・無節の高級建築用材を多く産出しています。

## 持続可能で環境に配慮した三重の木

日本のほぼ真ん中に位置し、南北に長い海岸線と山々が連なる土地、三重県。三重県の恵まれた自然の中で育った木々は、ぬくもりにあふれた良質な木材として、高い評価を受けています。

### 「日本農業遺産」尾鷲ヒノキ林業

尾鷲市・紀北町は大台山系に連なる急峻な山岳地帯であるため、稲作に向かず古くから林業が発達してきました。この地域では痩せ地で生長が遅いという林業にとって厳しい条件を逆手に取って、苗木を密植して間伐を繰り返す手法がとられています。こうすることで高品質なヒノキを生産するとともに、森と海とのつながりを意識した生物多様性にも配慮した森林管理が行われています。こうした地域独自の伝統的な林業が営まれてきたことが評価され、平成28年に農林水産省が創設した「日本農業遺産」に、「急峻な地形と日本有数の多雨が生み出す尾鷲ヒノキ林業」が林業では唯一認定されました。



### 全国に先駆けたFSC認証の取得

国際的な森林認証制度であるFSC認証を日本で最初に取得しました。認証の取得件数も全国上位であり、早くから県内各地で環境に配慮し、持続可能な森林を創出することを目指した取り組みを積極的に行っています。

FSC認証とは…

FSC認証は、世界的な森林減少・劣化の問題を背景に生まれた「適切な森林管理」を認証する制度です。認証された森林の林産物でできた製品が市場に増えることで適切に管理されている森林が守られ、森林の破壊や劣化を防ぎながら木材消費が進むというシステムです。



速水林業代表  
速水 亨さん

#### PROFILE

三重県北牟婁郡紀北町在住  
慶応義塾大学法学部政治学科卒業後、家業の林業に従事。森林経営の機械化を行うと共に国内の林業機械の普及に努める。現在、1070haの森林を環境管理に基づいて経営を実行し、2000年2月に日本で初めての世界的な環境管理林業の認証であるFSC認証(森林管理協議会)を取得、FSCジャパン副代表を務める。

### 国内初のFSC取得企業 「速水林業」代表にインタビュー

#### 人と自然の共生した理想の森林を育てる

林業を営んでいくうえで大切なことは、どのようにして自然と人が共生した森を育てていくか、そのイメージを持つことです。木を植えるときには、森をどのような森にしたかを考えながら育てていきます。間伐や枝打ちは森を育てるためのひとつのプロセスに過ぎませんが、そうしたプロセスを踏んで、森を理想の形に近づけていくことが重要となってきます。

#### 未来を見据えた林業経営を

日本には森がたくさんありますが、本当の意味での林業地はまだ少ないのが現状です。日本の大半の人工林は、かつて単に儲かるだろうという感覚で植えられただけのもので、森の循環を前提とした管理もされてきていません。木を伐採するばかりではなく、これからは森の循環を考えた管理を私たちはしていかなければいけません。50年100年先、あるいはもっと未来を見据えて、どんな森を育てていけばいいのかを考え、実践していくことが必要だと考えています。

## 品質や規格の確かな三重の木

### 【認証制度による規格基準】 「三重の木」認証制度

消費者の皆様が安心して三重県産材をお使いいただけるように、独自の認証制度を定め、品質・寸法・乾燥の規格基準に基づき、「三重の木」利用推進協議会が認証した製材工場が製材・加工した製品が「三重の木」です。

品質…JAS2級同等の品質基準を有する  
寸法…JAS2級同等の精度で加工  
乾燥…JAS2級同等乾燥基準により、収縮による狂いなどを大幅低減

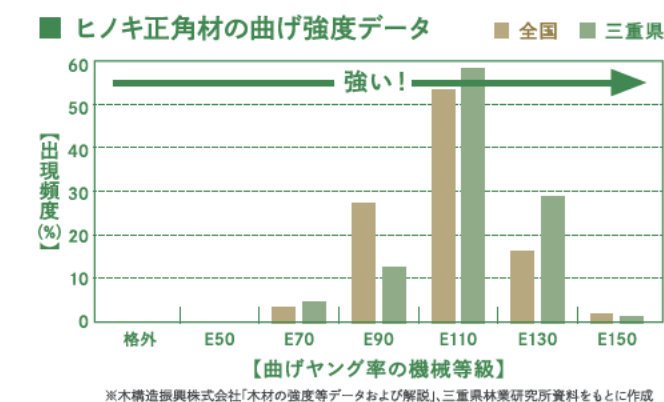
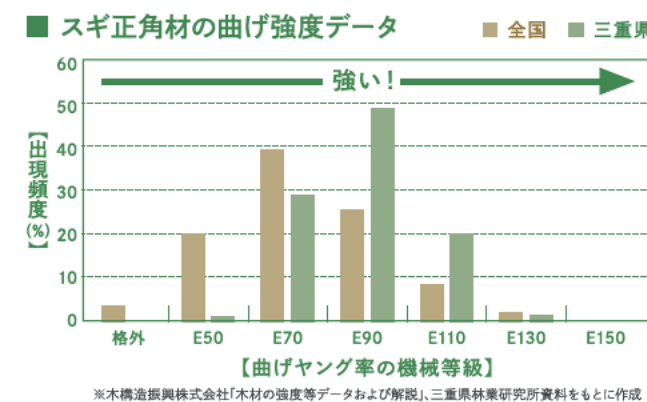
※日本農林規格(JAS)は農林物資の規格化および品質表示の適正化に関する法律(昭和25年5月11日 法律第175号)に基づき農林水産大臣が制定しているものです。



### 【データで見る三重の木】 強度の優れた三重の木

三重県産材は全国平均よりも上位等級の材の出現頻度が高く、強度にも優れています。

※機械等級区分とは、機械により計測した曲げヤング率(変形しにくさ・たわみにくさを表す数値)にもとづく等級区分です。E50～E150で表し、等級が上がるほど強度があるといえます。



### 【アンケートで知る三重の木】 高い評価の三重の木

平成27年に首都圏で行われた木材の展示イベントで、三重県産のヒノキを含む全国の木材22種を並べ、来場者125名の方に、見たり、触ったり、香りを楽しんでもらいながら答えていただいたアンケートでは、三重県産のヒノキが高い評価を獲得しました。

※株式会社トレカース工事「日本全国木材くらべアンケート」結果

自宅に使用したい  
県産木材

第1位

「肌触りが良い」と思う  
県産木材

第1位

「香りが強い」と思う  
県産木材

第1位

「木目がきれい」と思う  
県産木材

第2位

## 美しく、高級感のある三重の木

良質材も多く、木目も美しい三重の木は建物や家具など、さまざまなものに使用されており、私たちの暮らしに寄り添っています。

### 無垢材で建築された熊野古道センター (三重県尾鷲市)



### GRフローリング

良質な三重県産材を原料としており、圧密加工と表層WPC(Wood Plastic Combination)加工により、無垢なのにキズに強く汚れにくいという特徴があります。お手入れが簡単で美しさが長持ちします。

GRとは…

「Growth Ring」(年輪)の頭文字をとったもので、三重県内の企業が互いに輪(和)を育み、一年一年着実に成長するという意味で名付けられました。

### 三重のヒノキを用いた 良質な薄型CLT

最近注目されている複数枚のひき板を繊維方向が直交するように積層接着してつくられる木製パネル、CLT。三重県では良質なヒノキの香りや色艶をいかした、内装用の美しい薄型CLTパネルも作られています。



### 伊勢志摩サミットでの 三重の木の使用

平成28年5月に行われた「伊勢志摩サミット」では国際メディアセンターや首脳会議用の円卓、国名プレートなどに尾鷲ヒノキが使用され、丁寧に人の手を加え育てられた木目の美しさは、海外からも高い評価を受けました。

© 2016 MINISTRY OF FOREIGN AFFAIRS OF JAPAN